

図書館のビジネス支援サービスをブランディング ～「仕事に役立つリサーチガイド」を活用して～



埼玉県立浦和図書館（埼玉県さいたま市） <https://www.lib.pref.saitama.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	さいたま市浦和区高砂3-1-22
電話番号	048-829-2821
人口（図書館が所在する市町村）	7,207,748人
職員数（うち有資格者数）	41（31）人
蔵書数	496,480冊
登録者数	36,171人
年間貸出冊数（H24）	52,430冊

目的・趣旨

当館のビジネス支援について、より多くの人に知ってもらうため、ガイドブック「仕事に役立つリサーチガイド」を作成。連携機関等の訪問に活用し、利用者ニーズの把握や広報展開を行っている。

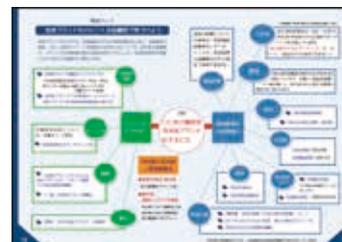
取組概要

- ビジネス支援を見える化
ビジネスパーソンに向け、図書館で効率的低コストにできるビジネス調査のコツを案内する冊子「仕事に役立つリサーチガイド」（全ページカラーA5判36p）を発行。図書館とビジネス支援サービスのイメージを見える化した。
- 連携機関、商工団体等へのアプローチ開始
「仕事に役立つリサーチガイド」を、図書館の名刺として活用。来訪先のニーズ把握、会員各社への広報が容易に。
- 商品開発に取り組む専門学科高校生にも
「仕事に役立つリサーチガイド」を、職業教育担当課を通じ、商品開発に取り組む専門学科高校生に紹介・配布。



特徴

- 「仕事に役立つリサーチガイド」の内容・ポイント
 - ①司書のサポート
10例のビジネスレファレンス回答例
 - ②ビジネス調査に有効な専門資料群
11分野の「情報ナビ」、データベース紹介
- 時間のないビジネスパーソンが瞬時に選べるサービスメニュー
 - ・制作は若手、司書職以外も含めた横断型プロジェクトチームで。
 - ・専門用語を避け、紹介資料は少数厳選、図や視認性の高いデザインで。
- 「仕事に役立つリサーチガイド」をきっかけに
 - ・創業支援機関、商工関係団体、産業振興担当者へのアピールが容易になる。
 - ・説得力を持ってビジネス支援サービスを提示できる。
 - ・旧来の図書館のイメージが変わり、より深い連携の契機になる。



調査のイメージマップ例



「情報ナビ」例

取組の成果と今後について

「リサーチガイド」による広報を契機に、本館のビジネス支援サービスについて、新聞やテレビ報道の機会が徐々に増えている。訪問先の商工団体からは「これほど図書館が使えるとは思ってもよらなかった」という感想を聞くことが多く、「ガイド」をテキストとした共催セミナー実施や、高校の産業教育でも利用されるなど、連携が広がっている。今後は、増加したマーケティング関連のレファレンスに対応した職員研修を充実し、サービスの拡充に努めたい。